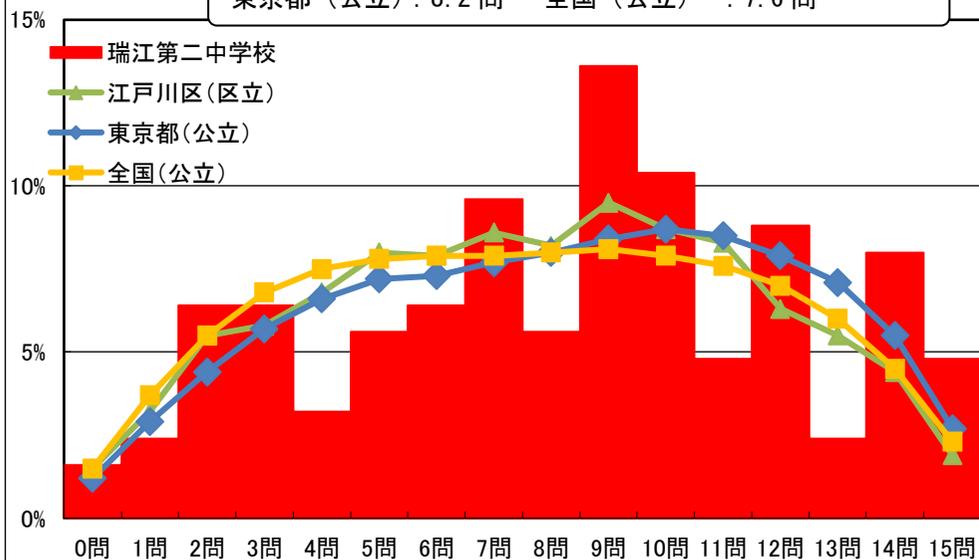


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 瑞江第二中学校

正答数分布

平均正答数

瑞江第二中学校：8.3問 江戸川区（区立）：7.7問
東京都（公立）：8.2問 全国（公立）：7.6問



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← 下位

数 学	四分位			
	A層 11~15問	B層 8~10問	C層 5~8問	D層 0~4問
瑞江第二中学校	28.8	29.6	27.2	20.0
江戸川区（区立）	18.1	26.5	24.7	30.7
東京都（公立）	31.7	25.1	22.2	20.8
全国（公立）	19.8	23.6	23.8	32.8

【平均正答率の差】

瑞江第二中学校	55%
江戸川区（区立）	51%
東京都（公立）	54%
全国（公立）	51.0%
都との差	+1ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

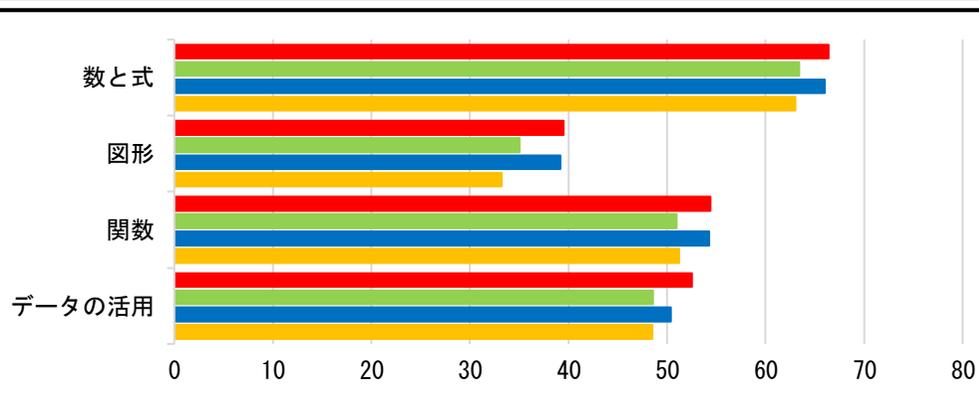
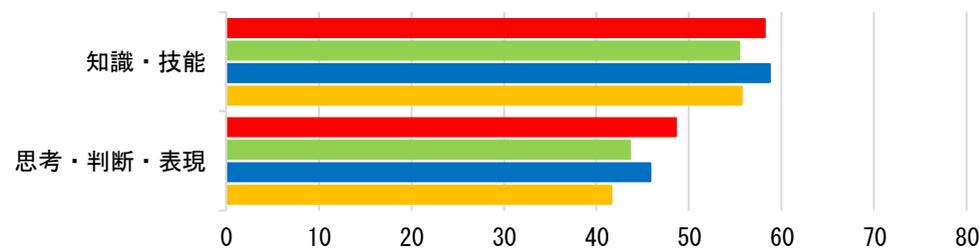
・都の平均と比べて、「思考・判断・表現」は2.8ポイント上回っているが、「知識・技能」は0.5ポイント下回っている。

<授業改善>

各単元の基礎の定着を目指して授業展開していく。学びあいやICTを用いた授業を行い、理解できる機会を増やしていく必要がある。

「領域別」の結果

■ 瑞江第二中学校 ■ 江戸川区(区立) ■ 東京都(公立) ■ 全国(公立)



四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。